

取付けガイド・裏形状

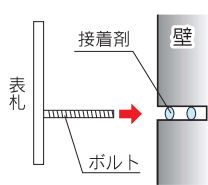
施工前にお読みください

養生テープを使用する際は、テープが直接表札に掛からないよう布または白紙（印刷物・色紙除く）で覆い、その上から固定してください。
粘着力が強いガムテープなどを使用すると、壁面を傷める恐れがあります。
また、養生テープ等を長期間貼ったまま放置されますと、製品や壁面に糊が残り、シミや汚れの原因となる場合がございますのでご注意ください。

Dタイプ

ボルト

切文字・ニュープラスチック等



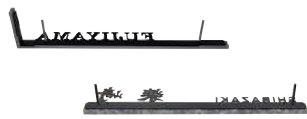
1. 壁にドリルでボルト径より 1～2mm大きめの穴をあけてください。
2. ボルト受け穴のホコリを清掃し接着剤を注入してください。
3. ボルトを差込み取付けます。

※ 接着剤がボルト穴からはみ出さないようご注意ください。



切文字タイプの商品は、壁面より少し浮かせてお取り付けください。

2 アクセントライン・スタイリッシュライン



ボルト M6×70L より

3 ステンレス・チタン 浮かし



ステンレスボルト M3～M6×45L より
チタンボルト M4×50L

4 真鍮・ステンレス・チタン・ニュープラスチック・鋳物 (GE-136)



ボルト M2～M6×40L より



※タップ（めねじ）をあける場合、板厚は3mm以上必要です。
タップボルト M2～M6 より

5 ニュープラスチック・コンビネーション



ボルト M6×45L

7 真鍮切文字 (SKT-7)・ステンレス切文字 (KT-80)・ニュープラスチック (IR-123)



ボルト M4×50L より ボルト M3×30L より ボルト M4×40L より

9 グロリア



ボルト M4×40L より

10 ヴァロン



タップボルト M3×40L

11 アクセントフレーム



ボルト M6×70L

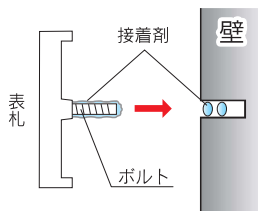
12 片ネジシャフト



先端 M2 ネジ
Φ3×60L または Φ3×100L

Eタイプ

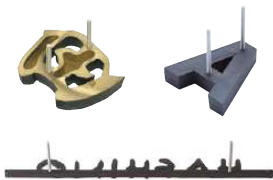
鋳物・金属箱型



1. 壁にドリルでボルト径より 1～2mm大きめの穴をあけてください。
2. ボルト受け穴のホコリを清掃し接着剤を注入してください。
3. ボルトにも接着剤を塗り、ボルトを差込み取付けます。

※ 接着剤がボルト穴からはみ出さないようご注意ください。

1 鋳物チャンネル



タップボルト

2 鋳物



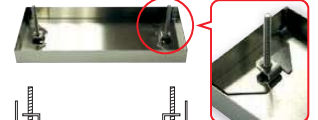
タップボルト

3 金属箱文字



ボルト付き

4 金属折曲げ



M5×60L ボルト付き

Fタイプ

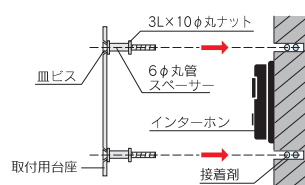
インターホンサイン
インターホンカバー



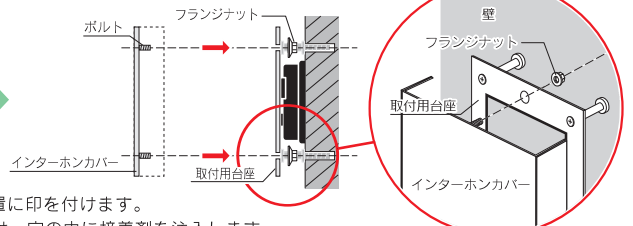
台座部分

カバー部分

① 台座の取付け



② インターホンカバーの取付け



1. 取付用台座の取付位置を決め、ボルト位置に印を付けます。
2. ボルト径より 1～2mm 大きめの穴をあけ、穴の中に接着剤を注入します。
3. ボルトを差込み取付けたのち、取付用台座とインターホンカバーをフランジナットで固定します。

※各タイプの参考写真です。形状、色等は商品により異なります。また商品サイズや形状を変更された際には仕様変更となる場合がございます。